

商品名 スマトリプタン錠50mg「トーフ」 医薬品基本情報

薬効	2160 血管収縮剤	一般名	スマトリプタンコハク酸塩錠
英名	Sumatriptan TOWA	剤型	錠
薬価	142.10	規格	50mg 1錠
メーカー	東和薬品	毒劇区分	(劇)

スマトリプタン錠50mg「トーフ」の効能・効果

片頭痛＜家族性片麻痺性・孤発性片麻痺性・脳底型・眼筋麻痺性片頭痛を除く＞

スマトリプタン錠50mg「トーフ」の使用制限等

- 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、心筋梗塞の既往、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、異型狭心症、冠動脈攣縮、脳血管障害の既往、一過性脳虚血性発作の既往、末梢血管障害、コントロールされていない高血圧症、重篤な肝機能障害、エルゴタミン投与中、エルゴタミン誘導体含有製剤投与中、5-HT_{1B}/1D受容体作動薬投与中、モノアミンオキシダーゼ阻害剤＜MAO阻害剤＞投与中、モノアミンオキシダーゼ阻害剤＜MAO阻害剤＞投与中止2週間以内
- 心血管系の疾患が認められない、虚血性心疾患又はその恐れ・疑い、重篤な不整脈、冠動脈疾患の危険因子を有する、てんかん様発作の既往、脳炎、脳疾患、痙攣閾値を低下させる薬剤使用中、てんかん様発作の危険因子のある、類薬で過敏症の既往歴、コントロールされている高血圧症、脳血管障害又はその恐れ・疑い、重篤な腎機能障害、腎機能障害、中等度肝機能障害、肝機能障害＜重篤な肝機能障害を除く＞

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	禁止
-------	----

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	注意
-------	----

スマトリプタン錠50mg「トーフ」の副作用等

- アナフィラキシーショック、アナフィラキシー、てんかん様発作、薬剤の使用過多による頭痛
- 不整脈、狭心症、心筋梗塞、虚血性心疾患様症状、一過性胸痛、一過性胸部圧迫感、虚血性心疾患
- 呼吸困難、徐脈、低血圧、一過性血圧上昇、頻脈、レイノー現象、虚血性大腸炎、複視、眼振、視野狭窄、一過性視力低下、暗点、ちらつき、ジストニア、振戦、圧迫感、ひっ迫感、重感、冷感

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	頻度不明
----	------

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	5%未満
----	------

記載場所	その他の副作用
------	---------

頻度	頻度不明
----	------

4. 過敏症、蕁麻疹、発疹、皮膚症状、動悸、悪心、嘔吐、眠気、めまい、感覚障害、錯感覚、しびれ、感覚鈍麻、肝機能障害、痛み、胸痛、咽喉頭痛、頭痛、筋肉痛、関節痛、背部痛、頸部痛、倦怠感、脱力感、熱感、潮紅

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

5. 重篤な心疾患、薬剤の使用過多による頭痛

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

スマトリプタン錠50mg「トーフ」の相互作用

1. 薬剤名等：モノアミンオキシダーゼ阻害剤投与中止2週間以内

発現事象 -

投与条件 -

理由・原因 -

指示 禁止

2. 薬剤名等：エルゴタミン

発現事象 血圧上昇、血管攣縮が増強

投与条件 -

理由・原因 5-HT_{1B}/1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強

指示 禁止

3. 薬剤名等：エルゴタミン誘導体含有製剤

発現事象 血圧上昇、血管攣縮が増強

投与条件 -

理由・原因 5-HT_{1B}/1D受容体作動薬との薬理的相加作用により、相互に作用（血管収縮作用）を増強

指示 禁止

4. 薬剤名等：5-HT_{1B}/1D受容体作動薬

発現事象 血圧上昇、血管攣縮が増強

投与条件 -

理由・原因 相互に作用を増強

指示 禁止

5. 薬剤名等：MAO阻害剤

発現事象 本剤の消失半減期<t_{1/2}>が延長、本剤の血中濃度－時間曲線下面積<AUC>が増加

投与条件 MAO阻害剤を投与中あるいは投与中止2週間以内

理由・原因 MAO阻害剤により本剤の代謝が阻害され、本剤の作用が増強

指示 禁止

6. 薬剤名等：選択的セロトニン再取り込み阻害薬

発現事象 興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥

投与条件 -

理由・原因 セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、本剤との併用により、セロトニン作用が増強

指示 注意

7. 薬剤名等：セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬

発現事象	興奮、頻脈、反射亢進、下痢、発熱、不安、セロトニン症候群、協調運動障害、焦燥	投与条件	-
理由・原因	セロトニンの再取り込みを阻害し、セロトニン濃度を上昇させるため、本剤との併用により、セロトニン作用が増強	指示	注意

8. 薬剤名等：痙攣の閾値を低下させる薬剤

発現事象	てんかん様発作	投与条件	-
理由・原因	痙攣の閾値を低下	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』